



News Letter

第14号 : 発行日 平成25年6月17日

甲状腺の病気について

甲状腺ってどこにあるの？

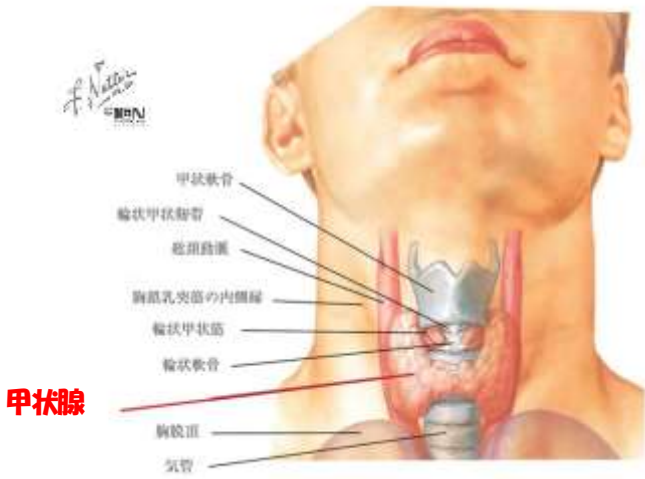
甲状腺は、首の前側、のどぼとけのすぐ下側にあり、気管を包むようにして、蝶が羽を広げたような形をしています。

右側は右葉、左側が左葉、中間の部分は峡部と呼ばれます。

甲状腺はやわらかいため、正常の場合、外から手で触ってもほとんどわかりません。何らかの原因で腫れて大きくなると触れることができます。

正常時の大きさ

縦：約4~5 cm 横：約2~3 cm 厚さ：数mm~1 cm 重さ：15g前後



丸善株式会社：ネッター解剖学アトラス より一部改変

甲状腺ってどんな働きをしているの？

— 甲状腺ホルモンの生産工場でもあり貯蔵庫でも —

甲状腺は、小さいながらも体内では最大の内分泌腺です。「内分泌腺」とは、体内の活動を調節したり、促進したりするのに必要なホルモンを分泌する臓器（腺）です。

甲状腺は、食べ物から摂取したヨード（主に昆布やひじき、わかめなどの海藻類）を原料にして甲状腺ホルモンを作る甲状腺ホルモンの生産工場です。

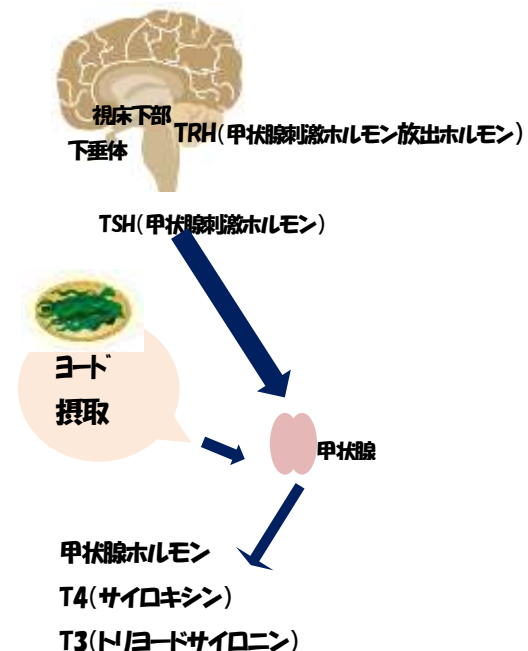
甲状腺ホルモンとは？

— 体の元気の源です —

甲状腺ホルモンの主な役割は、蛋白質の合成を促進して、新陳代謝を活発にするというものです。甲状腺ホルモンは、体の“元気”をつかさどっているホルモンです。

その種類は T4（サイロキシン）と T3（トリヨードサイロニン）の2種類あります。体内のほとんどの臓器に影響を与える重要なホルモンなので、量が多すぎても少なすぎても体に影響が出てきます。血液中のホルモン濃度をコントロールしているのが脳です。

甲状腺ホルモンの材料は食べ物から摂取したヨードで、甲状腺ホルモンの分泌は下垂体からの甲状腺刺激ホルモン（TSH）によって促され、TSHの分泌は、下垂体の上にある視床下部からの甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン（TRH）によって促されます。



視床下部—下垂体—甲状腺のコントロールシステム

甲状腺の病気にはどんなものがあるの？

— 大きく分けて3種類あります —

① 機能の異常

甲状腺機能亢進症・・・甲状腺ホルモンの分泌が過剰になる病気で、代表的なものが「バセドウ病」です。

甲状腺機能低下症・・・甲状腺ホルモンの分泌が不足する病気で、代表的なものが「橋本病（慢性甲状腺炎）」です。

どんな影響が出るの？

甲状腺ホルモンが過剰の時 **元気がありすぎ**

脈拍が速い、動悸、息切れ、体温上昇、多汗、食欲上昇、体重減少、下痢、カルシウム量減少、尿糖が出る

甲状腺ホルモンが不足した時 **元気がなくなる**

食欲減少、体重増加、体温低下、汗をかかない、無気力、うつ状態、脈拍が遅い

過剰と不足では正反対の影響が現れます。

間違えられやすい病気

・心臓病・糖尿病・更年期障害

間違えられやすい病気

・うつ病・更年期障害・認知症（記憶力の低下から）

甲状腺の病気は、男性よりも女性に多く、男性1：女性9の割合です。ただバセドウ病の割合は男性1：女性4です。

② 炎症

橋本病（慢性甲状腺炎）で生じている炎症とは別に、細菌、真菌、ウイルス感染により甲状腺に炎症が起こる「亜急性甲状腺炎」や「急性化膿性甲状腺炎」などがありますが、発症率は極めて少ないです。

③ 腫れ・しこり

☆ **甲状腺にできるしこりのほとんどは、良性のものです。**

- 1) 腫れて大きくなる病気・・・機能の亢進、低下などの症状がなくてもただ甲状腺が全体的に腫れて大きくなるという病気を「単純性びまん性甲状腺腫」といいます。また、バセドウ病や橋本病、無痛性甲状腺炎などが起きている時にも、症状の一つとして甲状腺全体に腫れが生じます。
- 2) しこりができる病気・・・甲状腺にしこり（腫瘍）ができる病気を「結節性甲状腺腫」といい、良性と悪性のものがあります。良性のものには「甲状腺腺腫」「腺腫様甲状腺腫」「のう胞」などがあります。悪性のものには「乳頭癌」「濾胞癌」「髄様癌」「未分化癌」などがありますが、他の体の部位の癌と比べると進行が遅い傾向があります。

甲状腺を調べるにはどうすればいいの？

— 当院でも検査ができます —

お気軽に
ご相談ください！

- ◆ **血液検査**：血液中の甲状腺ホルモンの濃度を調べて、甲状腺の機能がどのような状態であるかを調べます。

TSH・FT3（遊離型トリヨードサイロニン）・FT4（遊離型サイロキシン）

- ◆ **甲状腺超音波検査**：甲状腺が腫れているか、甲状腺の中にしこりがあるかどうかを調べます。

参考文献：「よくわかる甲状腺の病気」伊藤公一著・主婦と生活社 「甲状腺の病気」山田恵美子監修・（株）PHP 研究所

検査の予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803 / E-mail: mail@soiken.or.jp